



校長室から

校長 河須崎 恒

今年は十二年に一度の式年大祭「御船祭り」。巡り合わせを感じます。そして、神宮の例大祭とともに学校がスタートする。さすが「鹿島」です。

7 月の閉講式で、今年の夏休みは「今できることプラス1」の目標を立てチャレンジして欲しいとお願いしましたが、如何でしたか。中でも、全国高等学校総合文化祭「いばらき 2014」に参加した生徒諸君、全国から集まった高校生と交流できましたか。暑い中大変お疲れ様でした。大変だった分だけ光り輝く思い出になったことでしょう。それぞれの分野で、それぞれの地で、全国の高校生は頑張っています。私達も負けてはいられません。

さて、秋と言えば・・・・・・・・・・。勿論、「読書」です。「読書」しかありません。鹿島高校の生徒諸君、あなたは昨年度一年間に何冊の本を読みましたか。片手に余る人がほとんどでしょう。

そこで、今年の秋は是非とも「図書館」へ行って見て下さい。そして、諸君の人生を大きく左右するような一冊に巡り会って下さい。人は言葉によって成長します。言葉を知れば知るほど想像力が育ちます。その力が、「思いやり」の心へと広がります。一冊の本が与えてくれる世界は、無限の広がりを見せてくれるのです。

前回、四季折々の豊かな風情の中で感性を磨いて欲しいと書きました。今回は勉強や部活動で忙しい今だからこそ、本によって若い感受性を磨き上げて欲しいと願います。笑顔の溢れる生き活きとした人生のために。

～これからの主な行事～

9 月 1 日：開講式

16 日：就職希望者採用試験開始

19 日：鹿苑祭（～20 日）

・一般公開は20日だけです。

22 日：（20 日の振替で休日です）

26 日：前期終業式

29 日：学期末休業（～30 日）

10 月 1 日：後期始業式

12 日：2 年生修学旅行（～15 日・沖縄）

17 日：芸術鑑賞会（1, 3 年生）

28 日：第 3 回定期考査（～30 日）

11 月は「いばらき教育月間」です。

総文祭 いばらき2014 にて

7 月下旬の 1 週間、県内各地で文化の全国大会が開かれていました。多分一生に一度しか巡り会わないイベント、参加した生徒・職員それぞれの記憶に、深く刻まれた大会でした。私が運営に参加したのは、神栖で開かれた郷土芸能部門の全国大会。「郷土芸能って民謡だよね？」と



ちょっと残念に思っていた自分は、かなり無知でした。「郷土芸能部門」とは、厳しく鍛えられた心と体で打ち込む凄異芸術でした。全国から集まった代表校の熱気に圧倒され、大いに刺激を受けた 5 日間でした。



オープンスクール 今年も1000人超！

8 月 8 日には、本校進学を希望する中学生や、その保護者の皆様に多数ご来校いただきました。今年も昨年同様、1000 人を超えました。体育館



で学校の概略についての説明させていただき、その後は、模擬授業と部活動見学



【↑調理部の実習】

とに分かれて、高校生活の一端に触れてもらいました。外の見学では、【↑体育館はほぼ満席】少し雨が降っていましたが、皆、熱心に見ていました。多分、中学生の皆さんは、いくつかの高校を見て、最終的に受験する高校を決めていくのでしょうか。もう一度、本校の普段の姿を見ていただけるチャンスがあります。11 月の「いばらき教育月間」では、普段着の本校を見学できます。普通の授業の様子をご覧ください。お知らせは、もう少し先になりますが、是非、お越しください。

放課後⑧～朝むしりのトラック～

鹿島高校は、農学校だったせいもあってか、校地が広く、緑も豊かだ。ということは、つまり、草が生える。生えた草を自然のままに、というわけにもいかない。そこで、「草むしり」は重要な仕事になる。誰が？無論「受益者負担」。

つまり、写真の「道」を維持するのは、それを最も使う、陸上部の仕事である。時折、朝練ならぬ「朝むしり」する部員の姿や、草刈り機を颯爽と操縦する顧問の姿が目撃される。言い忘れたが、この「道」は 400 メートルの周回トラックである。（400 メートルのトラックを持つ高校はそんなに多くないと思う。やや幅は狭いけれど。）



この道は、いくら走ってもどこへも着かないが、確かに「道」である。地区から県、関東から全国へとつながっている道である。

草むしりの成果、では、ない。

リレーエッセイ 鹿苑今昔⑧～謎の予言者～

謎の予言者の話である。体育祭の綱引き。私の隣で眺めていた T 氏がつぶやいた。「右のクラスが勝ちますよ」「運動部が多いの？」「まあ。」歯切れが悪い。右が勝った。左右入れ替えて次の試合。T 氏、「右が勝ちますよ。」「さっき負けたじゃない」「でも勝ちますよ。」やっぱり勝った。更に入れ替えての決勝。最初のクラスが勝った、この「予言」、その後の対戦でも、ほとんどが当たった。さて、種明かしは下の写真。よく見ればわかるかもしれない。謎の予言者は本校出身の体育教師であった。このことを在校生の頃から気づいていたのだろうか？聞かなかった。



鹿高なう～夏のあれこれ～

全国高等学校総合文化祭結果

将棋部：団体 出場 35 チーム中 **ベスト 13**

・あと 1 勝でベスト 8 でした。しかし、まだ 2 年生。来年があります。

その他の結果

茨城県吹奏楽コンクール（県大会）：銅賞
県東地区演劇連盟合同発表会：優良賞
茨城県弓道個人選手権大会高校生の部

：男子 2 名、女子 1 名 **関東大会出場**

関東陸上競技大会：女子 1500m 第 6 位

全国陸上競技選抜大会：女子 2000m 障害出場

＜夏休み＞中のはずの学校、早朝から懸命に練習する生徒の姿をたくさん見ました。秋冬の大会にご期待ください。

サッカー部今夏も宮城県へ

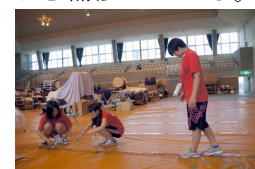


忘れてはいけないく3.11）。サッカー部が、宮城へ遠征し、交流試合と、牡蠣養殖復旧作業をしてきました。復興はまだまだ。様々な思いを抱いて帰ってきました。



編集後記：ビニールテープで、合わせ目がずれた体育館のシートを補修している。

太鼓の練習は、かなりしっかり踏ん張り、激しく動く。練習の合間に、テープとハサミを持って補修に入る。エアコンはない。暑かった、かな？



余り覚えてない。一番近いところで見ることが出来た幸せは覚えている。＊二棟の耐震工事進行中。現在のところ、亀の池に異変は見られない。亀は潜っている、と思う。

茨城県立鹿島高等学校 学校だより

『鹿苑だより』第 10 号（隔月刊）

発行：茨城県立鹿島高等学校

校長 河須崎 恒

編集：広報委員会

中沢雅彦 山崎律子